



と しょ かん かい けつ 図書館で解決!? 第27号

しら もの
図書館で調べ物をしてみませんか?

堺市立図書館
平成23(2011)年 6月 23日

堺市立図書館を
ご利用の
みなさまへ

いつも図書館をご利用いただきありがとうございます。堺市立図書館では、市民のみなさんが図書館の本を学習や課題解決に役立てていただけるよう、身近なテーマで「図書館で解決!？」を発行しています。

今回は、ユネスコの無形文化遺産に指定されている日本の古典芸能「能楽(能・狂言)」「人形浄瑠璃文楽(以後『文楽』と表記)」「歌舞伎」について、とりあげてみました。

最近の劇場では、初心者にも親しんでもらうために色々な工夫を行っています。舞台の流れと同時進行のイヤホンガイドを貸出して、見どころの解説や、演者の紹介などをしてくれたり、国立文楽劇場にいたっては、舞台の上に字幕で床本(台本)の文章を映し出して理解を助けています。それでも、書物を広げて読んでみれば、もっと幅広く興味を持って、お芝居を楽しむことができるのではないのでしょうか。

各古典芸能の奥深い魅力を伝える本がたくさん出版されています。

日本の古典芸能を調べる「能・狂言」「文楽」「歌舞伎」について

観劇は心弾むものですが、古典芸能となると歴史や文化的背景を知らない初心者にとってはとっつきにくいものですね。そんな方々にも手に取りやすい本もあるので、事前に目を通してから劇場に行くとう理解が深まります。最近では「古典芸能鑑賞」という授業を取り入れている学校もあり、子ども向けにわかりやすく解説している本も出版されています。

初心者のために

『日本の伝統芸能』 2 能と狂言 3 歌舞伎と舞踊 4 人形芝居と文楽
小峰書店 1995

『日本の伝統芸能はおもしろい』 1 市川染五郎の歌舞伎 3 野村萬斎の狂言
4 吉田蓑太郎の文楽 岩崎書店 2002

以上の2点は、子ども向けの書籍ですが、大人の方にも便利です。

『能にアクセス 劇場に行こうシリーズ』 井上由理子/著 淡交社 2003

『狂言にアクセス 劇場に行こうシリーズ』 小野幸恵/著 淡交社 2004

『歌舞伎にアクセス 劇場に行こうシリーズ』 伊達なつめ/著 淡交社 2003

『文楽にアクセス 劇場に行こうシリーズ』 松平盟子/著 淡交社 2003

チケットの取り方、劇場への行き方など、初心者が楽しむきっかけをつかめるガイドブックです。

また、各芸能の花形役者が案内するガイドブックも出版されています。

『茂山宗彦・茂山逸平と狂言へ行こう』 茂山宗彦/著 旬報社 2001

『豊竹咲甫大夫と文楽へ行こう』 豊竹咲甫大夫/著 旬報社 2004

『市川染五郎と歌舞伎へ行こう』 市川染五郎/著 旬報社 2000

もう少し詳しく知りたい方のために

何度も劇場に通ううちに、お芝居の背景をもっと知りたいという気持ちになります。

1冊で情報が盛りだくさんの三省堂のハンドブックシリーズは、幅広い知識を仕入れるのに便利です。

『能楽ハンドブック』 戸井田道三/監修 三省堂 2008

『狂言ハンドブック』 小林責/監修 三省堂 2008

『文楽ハンドブック』 藤田洋/編 三省堂 2011

『歌舞伎ハンドブック』 藤田洋/編 三省堂 2006

衣装や小道具・大道具など、裏方の仕事にも興味を持たれた方向けに、舞台裏の様子が多種多様に紹介されている本があります。

『舞台裏おもて』 マール社 2006



演目やあらすじを調べる

図書館での調べ物の問い合わせに多いのが、「演題の読み方」や「お芝居のあらすじ」です。便利な事典類が多数出版されています。

『新版 能狂言事典』 平凡社 2011

『能鑑賞二百一番』 淡交社 2008

『一冊でわかる狂言ガイド』 成美堂出版 2006

裏もご覧ください

堺市立図書館一覧

中央図書館

〒590-0801 堺区大仙中町 18-1
TEL244-3811

堺市駅前分館

〒590-0014 堺区田出井町 1-1-300
TEL222-0140

中図書館

〒599-8273 中区深井清水町 1426
TEL270-8140

東百舌鳥分館

〒599-8234 中区土塔町 2363-23
TEL234-9600

東図書館

〒599-8123 東区北野田 1077
TEL235-1345

初芝分館

〒599-8116 東区野尻町 221-4
TEL286-0071

西図書館

〒593-8325 西区鳳南町 4 丁 444-1
TEL271-2032

南図書館

〒590-0115 南区茶山台 1 丁 7-1
TEL294-0123

梅分館

〒590-0141 南区桃山台 2 丁 1-2
TEL296-0025

美木多分館

〒590-0138 南区鴨谷台 2 丁 4-1
TEL296-2111

北図書館

〒591-8021 北区新金岡町 5 丁 1-4
TEL258-6850

美原図書館

〒587-0002 美原区黒山 167-14
TEL369-1166

人権ふれあいセンター

図書ホール

〒590-0822 堺区協和町 2 丁 61
TEL245-2534

青少年センター図書室

〒590-0930 堺区柳之町西 1 丁
3-19
TEL228-6331

編集・発行:

平成 23 年 6 月 23 日
堺市立中央図書館
〒590-0801
堺市堺区大仙中町 18-1
Tel:072-244-3811
Fax:072-244-3321

『新版 歌舞伎事典』 平凡社 2011

俳優名鑑や家系図なども載っています。

『歌舞伎登場人物事典』 白水社 2006

作中人物の通称からも調べられます。

『歌舞伎浄瑠璃外題よみかた辞典』 日外アソシエーツ 1990

演題の読み方がまったく読み方がわからなくても、漢字の画数から引ける辞典です。

なお、歌舞伎には文楽から取り入れられた「丸本歌舞伎」という分野があるので、共通の演目は、歌舞伎・文楽どちらの事典でも調べることができます。

『一冊でわかる歌舞伎名作ガイド』 成美堂出版 2003

『あらすじで読む 名作文楽50』 高木秀樹/著 世界文化社 2005

『上方芸能事典』 森西真弓/編 岩波書店 2008

各芸能のつながりや、人名・地名など総合的に調べることができる事典です。

原作・台本を読む

原文と現代語訳を対照して読むことができる古典文学全集があります。

『新日本古典文学大系』 57 謡曲百番 58 狂言記 91・92 近松浄瑠璃集 上・下 93 竹田出雲並木宗輔浄瑠璃集 94 近松半二江戸作者浄瑠璃集 95 上方歌舞伎集 96 江戸歌舞伎集 岩波書店

『新編日本古典文学全集』 58・59 謡曲集①② 60 狂言集

74・75・76 近松門左衛門集①②③ 77 浄瑠璃集 小学館

対訳が読みにくい、もっとやさしい現代語訳あるいは物語として読んでみたいという方には、ヤングアダルト向きの本があります。

『21世紀版少年少女古典文学館』 15 能 狂言 18 近松名作集 講談社 2010

歌舞伎の台本として読んで楽しめるのが、以下のシリーズです。

『歌舞伎オンステージ』 全25冊別冊1 白水社

劇評を読みみたい、演者について知りたい

『かぶき手帖』 社団法人 日本俳優協会 2011

毎年改訂されて出版されています。

歌舞伎役者だけでなく、長唄や竹本などの

演奏者の紹介もある名鑑です。

『演劇界』 演劇出版社

歌舞伎中心の劇評月刊雑誌です。

『上方芸能』 上方芸能編集部

関西圏の劇評が充実している季刊雑誌です。

既刊特集には、関西で活躍されている古典芸能各分野の名鑑があります。

人気のある役者は、芸談や写真集など多数出版されているので、図書館の蔵書検索で「著者名」や「件名」にひいきの方の名前を入れて、検索してみたいかどうか。



Webで調べる

インターネットを使うと、最新の演劇情報を確認することができます。演者個人のHPを持っている方も多いので、リンクされているサイトもあります。

代表的なHPを紹介します。

公益社団法人 能楽協会HP <http://www.nohgaku.or.jp/>

the 能 ドットコム <http://www.the-noh.com/jp/>

国立劇場HP <http://www.ntj.jac.go.jp/kokuritsu/index.html>

財団法人 文楽協会HP <http://www.bunraku.or.jp/japanese.html>

歌舞伎公式ウェブサイト歌舞伎美人(かぶきびと) <http://www.kabuki-bitto.jp/>

(今回掲載しているのは、すべて平成 23 年 6 月 23 日現在の所蔵状況です。)